

2010.9 vol. 97

改訂版 vol. 27

# 女性委員会だより

らくだ 

社団法人 岐阜県建築士会 〒500-8076 岐阜市司町1番地岐  
総合庁舎3階〈電話〉(058) 266-5786 〈FAX〉(058) 266-6867

## ■ はじめに

### ■ 今年の夏は暑かったですね

副委員長 高野栄子

子供たちの夏休みも終わり、暦はもう秋？のはずですが、連日猛暑日が続いています。

今年の夏はまさに異常気象でした。地球温暖化とはまさしくこのことだと、痛感させられました。毎日「猛暑」「猛暑」の連続で、ほとんど疲れ果ててしまいました。せめて、朝晩だけでも涼しくならないかと切望しております。一日中クーラーなしでは過ごせない毎日です。いつになったら熱帯夜から抜けるのでしょうか。最近では、どこでだれと出会ってもまずは「暑いですね」のあいさつからはじまります。

このらくだが発行される頃には、少しは秋らしくなっていることを祈るばかりです。

みなさんも体調に気をつけて、がんばってください。



## ■ 今回の記事

- はじめに
- 今後の予定・お知らせ
- 研修会 HP更新講習会  
平成22年4月27日(火)
- 建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会  
平成22年度前期定例会議 石川県金沢会議  
平成22年6月26日(土)
- ぎふ建築士の日・フェスティバル  
平成22年7月7日(水)～11日(日)
- 平成22年全国女性建築士連絡協議会(東京大会)  
平成22年7月16日(金)～17日(土)
- コーヒーブレイク(花梨のゼリー風ジャム)
- 編集後記



## ■ 今後の予定 ・お知らせ

- ◆ 建築士全国大会 佐賀大会  
日時:平成22年10月22日(金)  
会場:佐賀県
- ◆ 見学会 奈良県  
日時:平成22年11月12日(金)
- ◆ 東海北陸ブロック会 後期 高山大会  
日時:平成23年2月26日(土)～27日(日)  
会場:岐阜県高山市



委員会だより

## ■ 研修会 HP更新講習会 報告

日時:平成22年4月27日(火) 13:00~15:00

会場:岐阜総合庁舎 3階南2 会議室

参加人数:10名

長瀬 八州余

建築士会のホームページがリニューアルされて、更新の仕方が今までと違います。HP担当者は、士会の講習会に参加したのですが、女性委員皆も更新の仕方を知っておいた方が良さだろうということで、この講習会が行われました。

士会から神山氏が参加して下さいました。

ご自分のノートパソコンを用意して下さい、携帯から繋いで、画面を見ながら講習会を行うことができました。

わかりやすい講習会を開くことができ、ありがとうございました。

個人によってやり方が違うので、説明を聞くと、そういうやり方もあるのかといろいろと参考になりました。

これからは、皆でより良いHPを作っていこうと思えました。



講習会の様子



講習会の様子

## ■ 建築士会東海北陸ブロック会

### 女性建築士協議会

## 平成22年度前期定例会議

### 石川県金沢会議 報告

日時:平成22年6月26日(土)

会場:

会議・・・石川四高記念文化交流館 復原教室

(石川県金沢市広坂2-2-5)

電話076-262-5464)

見学会・石川県政記念しいのき迎賓館(旧石川県庁)

(石川県金沢市広坂2-1-1)

電話076-261-1111)

交流茶会・・・金沢21世紀美術館 茶室 松涛庵

(石川県金沢市広坂1-2-1)

電話076-220-2800)

参加者:5名

12:30~13:10 受付

13:10~15:00 定例会議

石川四高記念文化交流館 復元教室

15:15~16:00 見学会

石川県政記念しいのき迎賓館

16:30~18:00 交流茶会

金沢21世紀美術館 茶室 松涛庵

## ■ 前期石川会議に出席をして

下川 滝美

2年間の委員長の任期を終えて今回から東海北陸ブロック会女性建築士協議会の事務局としての参加でした。5月に金沢で引き継ぎをしてからも不安の連続でした。石川会議までに石川県の新しい委員長さんからの会議の持ち方や交流会の持ち方などの問い合わせの回答を河内運営委員長と毎日何度も電話をしたりメールをしたりして打ち合わせをしました。

今までの委員長としての立場とは思いが違い、もっと広範囲で会に参加して下さい各県の方にとってこの会に参加することがどのような意味があるのか、参加して頂いた方だけでなく参加できなかった各県の女性の皆さんにどのようにこの会での会議や交流会を還元していったら良いのかを考え、参加をした会でした。



## 委員会だより

当日は早目に行き、河内運営委員長の熱い思いを皆さんに分かって頂くための打ち合わせも念入りでした。前事務局の方からもこんなに打ち合わせをしたことははじめて！なんて熱い思いが伝わったようです。私にはサブの長瀬さんがいて下さるのでとても心強いです。

前期石川会議が終わり現在は継続審議のアンケート作りです。

事務局はお金にも身近である分事業に対する責任も感じます。

後期高山大会が成功するように皆さんに満足して頂けるように頑張らないと！と身が引きしまる思いです。



定例会議の様子



会場にて、新旧運営委員長と事務局、石川県委員長と議長の事前打ち合わせ風景

## ■ 前期石川ブロック会議に参加して

### 飯沼あい子

今回は、ブロック運営委員長として河内さんが、同事務局として下川さんが就任された初めての会議でした。

か かいこの私も始めて岐阜県の委員長としての参加で、昨年度までは黙って座っていれば良かったのですが、これからは発言をしなければならない。且つ席順の関係か最初に発言をするという、考えをまとめる暇もなく、よって自分が何を言ったか記憶にないという情けない状況でした。後日議事録を見て確かめます。

尚、時間の関係で各県への持ち帰りとなった「女性単独で開催している前期会議の会議・食事・見学会をどう割り振るか」の意見のとりまとめがありますので、よろしくお願い致します。

## ■ 見学会 「しいのき迎賓館」

宇佐美 泉

ブロック会議終了後、石川県政記念しいのき迎賓館の見学に行きました。あいにくの雨降りでしたが、大きな木々の下を徒歩で見学会場へ。

この建物は、旧石川県庁舎本館をリニューアルし公開されたもので、この辺りは「兼六園周辺文化の森」と呼ばれて、金沢城・兼六園を始め、ブロック会議の会場でもあった石川四高記念文化交流館(旧石川近代文学館)や歴史博物館など数々の歴史的建物が集められている場所でした。又、近年では、皆さんもご存じのように、金沢21世紀美術館も近くにあります。

しいのき迎賓館は、正面入り口に樹齢300~400年といわれる一對のしいのきの大木があることからこの名前がつけられたようで、昔の石川県庁舎。南側の外壁タイルや木製の上げ下げ窓は最低限の補修をし、玄関ホール・中央階段の大理石等は、できる限り既存のままに保存されていました。(岐阜県建築士会が入っている、総合庁舎の玄関ホールの縮小版といった方がわかっていたか)北側は、南側とは対照的で、新しくS造で増築し、外壁は総ガラス張りにして十分な眺望を確保して、新旧が共存する建物になっていました。

限られた時間の中で、慌ただしく見ましたが、雨に濡れた木立の間からそれらの建物がちらちらと見えて、情緒的。

とても贅沢な時を過ごすことができ満足、満足の見学でした。今度は、ゆっくりと来たいです。



## 委員会だより



しいのき迎賓館（旧石川県庁）前のしいの木



今回の会議会場石川四高記念文化交流館裏側



しいのき迎賓館（旧石川県庁）内部

## ■ 交流茶会に参加して

長瀬八州余

見学会が終わり、金沢21世紀美術館の茶室「松涛庵」へ移動です。

帰りの電車の関係で愛知県と岐阜県、石川県のメン

バーが立礼席にて食事となりました。

今回茶室での交流ということで、石川のメンバーの数は着物での参加となり、いつもと違う雰囲気でした。

年間行事の中で毎年おこなっているお茶室見学の積み重ねでこういう事ができるのだらうと思います。

今回もいつもお願いしている先生にお茶席を設けてもらい、そこのお社中の方にもお手伝いをしていただいたとの事です。

懐石弁当は尾張町にある「壽屋」のお弁当で、季節の鮎などが入っていて、美味しかったです。「壽屋」は江戸期の町家を降幡廣信氏の監修のもとリニューアルされた建物でお店をしているということです。

食事をしながら、自己紹介をおこないました。最初の方がご自分の名前についてのエピソードを話されたので、皆さんそれに習って名前について話されながら、自己紹介をされました。今までよりも名前が覚えやすかったです。

お弁当の後に主菓子と干菓子を頂いて、お薄(抹茶)を頂きました。

参加した私たちは大満足でしたが、石川の方たちは本当に準備や運営に大変だったと思います。

ありがとうございました。



交流茶会での石川県の委員長さんのあいさつ



お茶室（立礼席）にて懐石弁当を前にして



委員会だより

## ■ **ぎふ建築士の日・フェスティバル**報告

日時:平成22年7月7日(水)～11日(日)

会場:十六徹明ギャラリー

岐阜市徹明通り1-3 電話058-262-0116

この期間中各種の講演・セミナーが行われました。女性委員会としては、受付等のお手伝いをおこないました。



受付の様子

## ■ **建築士の日**の感想

下川 滝美

建築士の日イベントに一日だけ参加をしました。本当は毎日参加したようなとても楽しい企画が盛りだくさんだったのですが近所でお葬式がきたり体調不良だったりで参加できずに残念でした。一日だけ参加したのは木曜日でした。

「中津川宿・落合宿の古建築調査の結果について」まとめられた成果品、苦労話などとても興味深くお聞きしました。また中津川支部の活動がとても充実したものであることと宿をテーマに見学会などを企画されて活動がこれからどんどん広がっていくような気がして引きこまれるように聞き入っておりました。

「宅地地盤の事故や災害から我が家を守る」本当はこんなに面白いお話とは思いませんでした。講師の方がとても楽しそうにお話しされるのにまず感動しました。大昔の地形図に地盤はもどろうとすることや地名に残る先人の警告などとても興味深かったです。駐車場が大変だとお聞きしていたので久しぶりにバスで行きました。意外にもバスは途中から満員でした。びっくりしたことに柳ヶ瀬も高島屋も結構人がいました。子供のころ柳ヶ瀬が元気だった頃の事を思い出しました。一日だけでしたが発表された方々のパワーを頂いた気がしました。楽しくなければ続かない！楽しいから続けられる！そんなことを思いました。

飯沼委員長、宇佐美副委員長、準備打ち合わせ等お疲

れさまでした。準備委員会、青年委員の方々の企画運営のおかげで楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。

## ■ **講演会「中津川宿・落合宿の古建築調査の**

### **結果について」に参加して**

森崎 麻充

表記のテーマで、中山道中津川宿古建築調査研究会の糸魚川亨様と長尾修様の講演を聞きました。

古建築調査は家の全てを見られるため、ご主人は快諾しても奥さんが反対し、説得に難航すること、長期不在の家は、帰省を待たなければならないこと、調査員の保険の必要性、また、限られた予算で行うための経費の削減方法など、私の想像を超えた多くの話を伺い、この18件の調査が、どれほど大変であったか察することができました。

また調査により判明した、隠れ家のある家や、棟札の存在、囲炉裏で燻された木の撥水性、古建築の構造体の頑丈さなど、大変に興味深い話でした。

そして、多くの古建築調査により、伝統木構造を後世に伝承する必要性を語られ、これには、大いに共感致しました。

この他、中津川宿には多くの旅籠や商家が存在し、経済や文化が非常に栄えていた様子や、御天医がおられたこと、苗木藩と岩村藩の交流が盛んで婚姻も多かったことや、尾張藩が木曾の五木の伐採を禁止したため、美林を残すことができたことなど、様々な時代背景も知ることができました。

また、講演中に2冊の調査報告書を回覧していただきましたが、いずれも、詳細に調査されており、時間の都合で熟読出来なかったことが、非常に残念でした。

講演を聞いて、先進の建築技術にばかりに興味を持ってしまうことを反省し、古建築についても、もっと目を向けるべきだと、つくづく思いました。



講演会の様子

「中津川宿・落合宿の古建築調査の結果について」



## ■ 平成22年全国女性建築士連絡協議会

### (東京大会)

日時:平成22年7月16日(金)～17日(土)  
会場:建築会館ホール  
(東京都港区芝5-26-20  
電話 03-3456-2067)

東京機械本社ビル

テーマ:『女性建築士の新たなる出発』

参加者:4名

#### 平成22年7月16日(金)

11:00～13:00 全国女性部会長(委員長)会議

13:15～13:30 開会式

13:30～14:30 基調講演

テーマ『女性とまちづくり～女性化する  
社会の中での都市と建築～』

講師:宗田好史氏(京都府立大学准教授)

14:45～17:00 パネルディスカッション

テーマ『これからの女性建築士が目指す道』

17:15～18:00 ポスターセッション+交流会

#### 平成22年7月17日(日)

9:00～11:30 分科会

11:45～12:30 全体会+閉会式



青年委員長の大石氏と一緒に建築会館前にて

## ■ 平成22年全国女性建築士連絡協議会全国

### 女性部会長(委員長)会議 報告

飯沼あい子

7月16日午前11時から東京機械本社ビル会議室にて連合会から副会長・専務理事・委員長・委員、及び都道府県建築士会女性部会長(委員長)が出席して行われました。

報告事項として、連合会の組織の説明がありました。又女性委員会の活動が士会としての活動や、地域貢献センターの助成活動として広がっていく事も一考してみてもとの提案もありました。

協議事項として、次の事項が取り上げられました。

・今年のアピール案について

1. 女性建築士が、生活や地域に密着した専門家として子供や高齢者・環境にやさしい「くらしづくり」を提案すること。

2. 女性建築士の役割・社会的責任の大きさを再認識し研鑽すること。

3. 継続的な活動の集約として「ニッポンの建築素材」を出版したが、今後も環境問題や地産地消の取り組みを行うこと。

の検討を行いました。

来年度の京都会議について

京都の委員長さんより開催場所と予算等の報告がありました。特に予算については、厳しいこともあり詳細は執行部の方と協議される事になりました。

以上、初めての会議でしたが、全国の委員長が一同に会するという機会にあって女性でも力を合わせれば何かできそうだと心強いものを感じました。

又、最後になりましたが、今回青年委員会の委員長の  
大石氏(岐阜県)が(意外?心強い?)参加されていた事を付け加えて会議の報告とします。



## ■ 基調講演の報告

河内美代子

テーマ:「女性とまちづくり—女性化する社会の中での  
都市と建築」

講演者: 宗田好史氏(京都府立大学)

「男 女雇用機会均等法」施行以来4半世紀の間に、女性就業者が増加し、この女性たちの行動・消費が町を変えてきたと言える。

京都の街の変化をブロックに分けて 時系列で調べていくと、金融ビッグバンで空いたオフィスが飲食店になり、サービス産業(特に美容院・エステ・ネイルサロンなど)の増加も著しく、女性を ターゲットにした消費行動にシフトしている。

そしてその変化に対応していない中心市街地は取り残されていることがわかる。

具体的には、例えば女性は「飲み に行こう」ではなく、「食べに行こう」という発想であり、その行動は従来のおやじ中心の考え方とは異なる。

また麻雀、パチンコなどと言った男性が街中で遊ぶ娯楽店舗に代わり、女性が消費する店舗が増加。

そしてそこについていけない古い考え方の飲み屋街などは時代に取り残されていく。

先生はこの現象を社会の女性化と表現され、草食系男子もその一つかもしれないと言う。

観光都市京都のお客さんは女性7:男性3。四半世紀前と比べると女性は倍増、男性は半減。女性をターゲットにした店が流行るわけである。

現在、夫婦でも実質的に財布を握っているのは女性であり、特に働く女性は自由になるお金が多い。

女性をターゲットにすることの重要性はこんなことでも立証できる。

地 方都市には新規事業者が少なく、女性の地方回帰も少ないため、女性化に対応したサービス産業が伸びにくく、このことが地方の後進性となり、地域再生に不利な条件となっている。

古い常識を捨て、サービス産業は新世代ビジネスと捉えるなど、私たちの遅れた意識、価値観を変えていかなければ、地方再生はない。

女性の感覚・感性が世の中をリードしていきつつあり、大いに女性発信の考え方で世の中を変えていきましょと、話を聞いてあらためて思いました。



基調講演の様子

## ■ パネルディスカッションの感想

下川滝美

テーマ「これからの女性建築士の目指す道」

コーディネーター

平内氏(連合会女性委員会副委員長)

パネリスト

宗田 好史氏(京都府立大学助教授)

柳川 陽文氏(大阪府建築士会会長)

村上美奈子氏

(初代連合会女性委員長、東京建築士会)

鍵野 洋子氏

(第2代連合会女性委員長、兵庫県建築士会)

小谷部育子氏

(第3代連合会女性委員長、東京建築士会)

宮本 伸子氏

(第4代連合会女性委員長、東京建築士会)

20周年ということで女性委員会発足の歴史や活動の歴史を聞いて今の分科会のあり方を知りました。

継続的に取り上げてきたことは資産になるのだと、私たちの女性委員会にも通じるものがありました。

全国の女性委員会の資産を共有できるようにするのがこの全建女であり、年に一度のこの交流会が意義のあるものになればと気持ちが引き締まる思いでした。

会の在り方が問われる中、歴史を知ることによって今後の活動を継続していく意義の大切さがわかりました。



委員会だより



パネルディスカッションの様子

## ■ ポスターセッション+交流会の報告

長瀬八州余

平成2年に第1回全国女性建築士連絡協議会が開かれて、今年で20周年 新たな出発ということです。

連合会から事前にポスターセッションをおこなうので、各県の活動がわかるようなポスターをA2版で作成して当日持って来た下さいとの連絡がありました。

岐阜県としては、近年の女性委員会便り『らくだ』の記事をポスター形式にして発表すればどうかということで作成に入りました。

メーリングにてポスター案を皆さんに見ていただき何回も意見交換をして、作成することができました。

何をどのようにすればいいのか、皆目わからない状態ではじめましたが、皆様のアイデアでどうにかポスターを作ることができました。

データを連合会に送ってあちらで印刷していただけるように掛け合ったのですが、A2版の印刷機が無いということで各県に現物を持って来ていただくようにしますという返事でした。

紙も光沢紙で厚口という指定でした。外注すると一枚三千円位かかるので、自力でおこなう方向で作業を進めました。

厚口だとロール紙で七千円位になるので、薄口にして良いという了解を得て、印刷をして当日早めに出発する委員長に持って行ってもらいました。

頭の帯の色とフォントの指定はありましたが、会場に貼られているのを見て回りましたが、各県本当にいろいろでした。

結構各県、印刷は外注に出されていました。

山梨県は絶対にプロに頼んだと思ったのですが、デザイナーが委員会のメンバーにいてその方がなされたということでした。

事前に連合会に現物を送っていた県は裏打ちがしてありました。

各県いろいろな活動をされていることがわかりました。大変でした、できあがったポスターを見ると嬉しいものです。



岐阜県のポスターの前で集合写真



交流会の様子

## ■ 全建女分科会報告

平成22年7月17日(土)

[分科会]9:00~11:30

A分科会「士会活動と女性」 司会 田井中恭子(滋賀)

B分科会「環境共生住宅」 司会 小野全子(愛知)

C分科会「健康住宅と素材」 司会 久米えみ(長野)

D分科会「建築物の再生活用」司会 塚原孝子(佐賀)

E分科会「歴史的な建物とまちなみ」 司会 本間恵美(北海道)

F分科会「子供と住環境」 司会 河野房子(広島)

G分科会「高齢社会」 司会 西田真紀子(石川)

H分科会「集まって住む」 司会 土田久美子(秋田)

注)色つきは岐阜県女性委員参加分科会







パワーポイントを使っの発表の様子

## ● E分科会「歴史的な建物とまちなみ」 に参加して

長瀬八州余

今回のコメンテーターは東京建築士会の多羅尾直子氏『復校小学校と明石小学校保存活動』と大阪府建築士会の曾我部千鶴美氏と材寄法子氏『高島屋東別館(旧松坂屋大阪店)』の2件についてです。

明石小学校は9月に解体が決まっています、本当に差し迫った状態で、今 署名活動の最中ということでした。会議中に署名用紙が回されて皆さん署名をされていました。他の分科会にも署名用紙を回しているということでした。

今まで保存運動等にたずさわってきた方々のお話では、行政に働きかけるのには署名が一番だということでした。本当に残したいのなら、なりふり構わず、自分に規制をかけずに何でもやってみなくてはダメだともおっしゃって見えました。

保存は大事だが、今行政もお金が無い状態なのでなかなか難しい、もっとネットワークを拡げていく必要があるのではないかという意見も出ました。

高島屋東館(旧松坂屋大阪店)についても、今すぐに壊されるということはないが、これとしいった使われ方がされていないということでした。DVDで映像を流されているのですが、それを見て名古屋の松坂屋本店も古いことがわかりました。今まで買い物に行って建物を見ていましたが、指摘されるとそういえばそんな物があったなあと思いました。今度本店に行ったらじっくり見てこようと思いました。来年の建築士会の全国大会は大阪でそれに向けて建物マップを作成しているというお話しもありました。

今年の分会会ではまちなみというよりも近代建築の保存についての話し合いとなりました。



E分科会の様子

## ● B分科会「環境共生住宅」に参加して

飯沼あい子

福島県建築士会が「ふくしまの家地域活性化支援事業」により手がけられた「会津百年スギの家」の取り組みについて発表されました。「木楽塾」と命名された展示住宅ですが、各種勉強会や体験宿泊・地域のイベントにも使われているそうです。特徴的だったのは地元の木材を使い、金物を使わない昔からある木組みで組んである事でした。

長野県建築士会からは、会員の一人が取り組みをされた地域木材利用の実例が紹介されました。実際に山へ入り木を切り出すところから施主と共に係わりを持ち、山の木に手を入れなければならないという意識を持たれたそうです。

2例共に地元の木材を使って環境を考えるという事で、参加者からは太陽光や雨水利用などのエコ的なものを想像していたという意見もありましたが、岐阜県も含め、山が多い日本の木を育てる林業が疲弊してはいけないという認識を皆が共有できた分科会でした。尚、またまた最後になりましたが、大石氏(岐阜県)が参加されていて岐阜の木造塾の話をして下さいました。(本当は上手く説明できない飯沼が突然振ってしまったのです。ごめんなさい)



## ● F分科会「子供と住環境」に参加して

下川滝美

昨年从这个分科会に参加しています。

日ごろ子供達と福祉のまちづくりのボランティアをしているので参考になることがあればと思い参加をしました。

発表は広島建築士会の「広島からヒロシマ、そして広島へ～歩いてさがそう未来のひろしま～」

平成21年に広島平和記念都市建設法制定60周年記念事業の一つとして子供を対象にした事業としてこの広島の街をめぐるウォークラリーを企画実行したその報告でした。

建築士が入ることで都市計画のルールをもとに過去を学び現在を知りそして未来をどうしたら良いかを考えるという企画の物でした。

綿密な企画の上に女性ならではの心使いもありました。イベントは12時30分～5時30分、夏ということもあり2時頃にはおやつポイントを設けメディカルチェックもするなど水分補給や暑さ対策にも気がつかっていました。活動は広島の次は呉、福山と継続されるようです。活動を通して気づいたことが大人になってどのようにこの町を支えていくのか子供達の将来にもかかわる事業だと思いました。

活動報告の後は各県の子供を巻き込んだ活動の報告をしていきました。住教育支援チームや子供の生活環境部会などがある県もあり、多くの県で子供と関わりのある事業をしていました。多くの活動報告を聞いてとても参考になりました。



F分科会の様子

## ● H分科会「集まって住む」に参加して

河内美代子

東北ブロックの土田さんの司会、コメンテーター東京士会・中野さんの事例発表で始まった。

事例報告：東京都南区では人口流出に歯止めをかけるため、1994年に借上げ住宅制度を設け、それから18年かけて5万人減少した人口がほぼ元に戻ると言う成果を上げた。そして2010年でこの施策は役目を終えたということであった。

港区は昼間人口が夜間人口の5倍と言う特殊事情もあり、人口の高齢化とともに地域の祭りなどの担い手も減少するなど、人口流出に悩みを抱えていた。そこで港区にゆかりのある人を対象とした低家賃の賃貸住宅を供給することにより、人口を呼び戻した。

中野さんが手がけた賃貸住宅は7階建ての6・7階に施主が住み、2～5階を賃貸住宅として供給したということであった。

メリットとしては20年で借上げ契約解消なので安心。安く供給する部分は区が補助するので、貸主としての収入は同じ。さらに建設費の利子補給もあり、空き家保証もある。

デメリットとしては、優良賃貸住宅の基準をクリアする必要がある、若干厳しい。

この制度にのった住宅を借りると市価の2～2.5割ほど安くなり、要件を満たした住民にとっては魅力的な住まい。ただ、今回物件も70㎡と家族で住み続けるには若干狭い。

しかし人口減少が進んでいく中、特に岐阜のような中山間地の多い地域にとっては、どのように住民サービスを継続するかとか、安心して暮らせるかなどと考えた時、一つの考え方として集まって住む住まいを考えたときに、この港区の事例は参考となるだろう。

また参加者からは、空き家対策としての既存住宅の有効活用、若者対策、地域として集まって住むなどの形を考えていく必要があるとか、「家族の輪」と言うものを再考したいとか、同じような対象ばかりが集まって住むと偏ったコミュニティーとなる恐れがあるなどといった意見が寄せられた。



H分科会の様子



## ■ コーヒーブレイク

らくだ26号で各務原市内見学をした時に『旗本徳山陣屋公園にてボランティアで、毎日、公園を清掃しているおじさんの家に招かれ ハーモニカの演奏と 奥様の手作りのゴーヤの甘煮とかりんのジャムの試食をさせていただきました。』と有りました。ぜひ作り方を知りたいということで、津川さんをお願いして、奥様に聞きに行っていました。

本当にきれいな色のジャムができます。

## 花梨のゼリー風ジャム

材料 花梨 5個 (1.2kg前後)  
砂糖 300g(煮てこした汁の3/4)  
水 8カップ

### 作り方

- ① 花梨は洗い、6つ割りにして皮をむき 芯と種を取り除きます。この種と芯は集めてガーゼに包んでおきます。種などから果肉をとろりとゼリー化するペクチンが多く出ます。
- ② 花梨を 5mm~1cmの厚さに切りホウロウ鍋に入れ、①のガーゼに包んだ種と芯も加えてかぶるくらいの水…8カップを加えて中火にかけ煮立ったら火を弱めて1時間煮ます。
- ③ 人肌に冷まして裏ごし器(布巾でもよい)に通して汁を別に取り分けます。 但し、実を決して絞らないこと
- ④ こし汁の 3/4 の砂糖を加え、再びガーゼの包みを加えとろみがつく程度に煮詰めます。(この時に茹でた実の2片程を 3mm のさいの目にしたものを一緒に煮詰めると趣が出ます。)  
汁 4カップ  
砂糖 3カップ…1時間 15分程煮つめる
- ⑤ ほどよいとろみがついたら箸の先にちよつとつけて水中に落として、小さなボール状になって沈んだら火を止める。

…透明な濃い紅色のゼリー風ジャムができます。…

## ■ 編集後記

27号をお届けします。

年2回の発行となり平成22年度の前期の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。また、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

(HPアドレスが4月より新しくなりました)

Eメールアドレス [kensi578@juno.ocn.ne.jp](mailto:kensi578@juno.ocn.ne.jp)

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

